

所属パラリンピアンに対する応援活動が社内にポジティブな変化をもたらす

2013年にパラ・パワーリフティングの西崎哲男選手を雇用した乃村工藝社。最初は小さかった応援の輪を、体験会などを通じて徐々に広げ、西崎選手のリオ大会出場を機に全社的なものへと拡大。西崎選手がもたらしたインパクトは大きく、社内一体感や帰属意識の醸成、多様性の理解の促進はもちろん、事業である空間プロデュースへのヒントにもつながっている。



株式会社乃村工藝社



観戦会



体験会・講習会



協賛



アスリート雇用

企業情報

株式会社乃村工藝社

【担当部署】東京2020オリンピック・パラリンピック推進室

【所属人数】21名

【住所】東京都港区台場二丁目3-4

【電話】050-5962-1171(代表)

【URL】<https://www.nomurakougei.co.jp/tokyo2020>



がらなかった。

そこで、西崎選手応援の機運を盛り上げようと、社内イベントを開催。西崎選手とともに、他の階級の選手も招き、同社の役員と社員、そして招待者合わせて、120名を前にデモンストレーションを実施。さらに、競技体験も行った。



西崎選手

その甲斐あって、入社2年後に行われた全日本パラ・パワーリフティング選手権大会には、社員とその家族74名が応援に駆け付け、西崎選手も自己記録を更新。その後、西崎選手は日本代表の座を勝ち取り、リオ大会出場を果たした。これを機に、全社的な盛り上がりへと発展した。

所属パラリンピアン活躍で生まれた変化

西崎選手のその後の活躍は、同社に一体感を生むとともに、ポジティブな変化ももたらした。西崎選手を通して、NPO法人日本パラ・パワーリフティング連盟とのつながりができた同社は、2016年全日本パラ・パワーリフティング大会で競技会場の空間づくりを手掛けた。



※第16回全日本パラ・パワーリフティング選手権大会 (2016年1月10日 日本体育大学 世田谷キャンパス 記念講堂)

パラ・パワーリフティング大会のサポートを通して、障がいのある人の行動や心理面にまで配慮した空間づくりの意識改革のきっかけとなった。それを東京2020大会の空間づくりにもつなげていこうと考えている。

西崎選手は、競技だけでなく、車いすユーザーであることを活かして業務面でも活躍している。本人も手ごたえを感じていたようだ。

仕事を通じて西崎選手と直接、接する社員が増えていることもあり、社員の意識も確実に変化している。

1892年の創業以来、その高い専門性と挑戦力で時代を切り拓いてきた同社。仕事においてプロフェッショナルであることは当然。加えて、携わるイベントや空間への参加意識を持つこと、つまりマインドも大切にしている。その点、西崎選手への支援・応援や東京2020オフィシャルサポーターであることを通じて、東京2020大会への参加意識、貢献意識はすでに高まっている。さらに同社では多様性や共生社会への理解も着実に進みつつある。こうした変化が同社のさらなる成長と発展につながるのには間違いなさそうである。



パワーリフティング部のキャプテンも務める遠山氏

コロナ禍における取組・今後の方向性

社内で実感したスポーツの力を社外にも広げ、パラスポーツや共生社会への拡がりに貢献する社会活動をはじめている。西崎選手は社員とともに「心のバリアフリー」をテーマに全国の教育機関など20か所以上で講演や体験会を行い子供への原体験づくりに取り組んでいる。コロナ禍でも「スポーツの感動」を通じて人びとを応援し笑顔にできる活動を、アスリートと企業・地域が一体となって続けていければと考えている。

※西崎選手は「あすチャレ!メッセンジャー GOLD」認定講師として活動しています。講演会へのご依頼は下記をご覧ください。
<https://www.nomurakougei.co.jp/tokyo2020/athlete/>

東京2020大会を、企業と社員の成長のきっかけに



主催したイベントの様子

同社は、東京2020大会を盛り上げようとさまざまなプロジェクトをスタートした。その一つに、社内外向けイベント「ツナギングプロジェクト」を開催。大会に向けた機運醸成をねらい、社員による人文字などで構成する映像「ツナギングハート」を制作し、社屋のエントランスに設置したモニターで随時、放映している。(2019年12月取材時)

「このプロジェクトは、東京2020大会に向けてみんなで盛り上げるために、社内外に横ぐしを通すといったイメージです。空間プロデュース業界のリーダーとして先頭に立って盛り上げに貢献するとともに、当社としても、これをきっかけにあらゆるところとのつながりを強化して総合力を高め、企業としてもう一段階上のステージに行きたいと考えています。」と、第一事業本部の遠山潔氏は説明する。また、一人でも多くの社員に東京2020大会を自分ごと化してもらおうと、社内向けイベントも開催。トップアスリートを迎えてのトークセッションやボッチャ体験会、パワーリフティング部による同競技の体験会などを実施してきた。

所属パラリンピアン応援の機運を盛り上げるために

2年後のリオ大会出場に向けて、パラ・パワーリフティングの西崎哲男選手(男子49kg級)を応援しようとの動きが出始めた。しかし、それはごく一部の社員のみで、全社一丸となって応援しようとの機運はなかなか盛り上